

一般財団法人 有本積善社 第 62 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 6 年 8 月 22 日（木）16：00～17：00
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：
委員総数： 7名
出席委員数： 5名
出席委員の氏名： 水嶋純作、山内茂樹、今安博和、山下美晴、楠崇智（メルロメント含む）
欠席委員の氏名： 尾関善之、松井恭子
放送事業者側出席者名： ジェネラルマネージャー 時岡浩二
技術チーフ 上田秀篤

4 議題

(1) 報告事項

- ① 6/29(土)17:55～18:15 に東舞鶴八島商店街から、浜っ子夜の市初日開会の模様を生中継した。
- ② 新パーソナリティ募集のCMを6/14(金)から放送し、6/30(日)までに2名(男女各1名)の応募があった。面談を経て7/17(水)から7回続く研修を開始し、昨8/21(火)で4回を終了した。
- ③ 上記とは別に、先に研修を修了した女性パーソナリティ1名が、7/31(水)朝の番組から先任パーソナリティ付き添いで実践研修中。
- ④ 舞鶴の高校生が企画し、6/16(日)に赤れんがパーク5号棟で実施されたイベント「KARAYAB」を公開収録し、「10代・20代舞鶴未来対談」の放送枠と「特別番組」枠で放送した。
10代・20代舞鶴未来対談 7/6(土) 07:40～07:59、(再) 10:00～10:19
特別番組 7/6(土) 09:16～09:37、(再) 12:17～12:38
- ⑤ 次の通り新番組を開始した。
 - ・Music Page Radio
7/13(土) 16:30～16:59、(再) 20:15～20:44(毎月第2土曜日、その他の週は再放送)
Community Radio Alliance Kyoto (CRAK) のFMまいづる/京都三条ラジオカフェ/ラジオミックス京都の3局で放送する音楽番組。イオンモール KYOTO (Sakura 館1F) のカフェ SLowPage 店舗内で毎週土曜日に開催されているライブ演奏「Saturday Music page」の模様を公開収録して放送。
 - ・明るい終活ラジオ(セレモニーホールかがやき提供)
7/24(水) 9:21～9:35、(再) 18:30～18:44(毎月第4水曜日)
パーソナリティ：引野明子(看取り士)
- ⑥ 7/27(土)午後、西舞鶴商店街の「土曜の市・夜の市」に、当社の番組を提供している「京都府交通安全協会」が出展しているのにあわせて「商店街インフォメーション」を収録し、後日放送した。
- ⑦ 7/28(日) 18:00～21:00に「みなと舞鶴ちゃった花火大会」の模様を会場から生中継した。
- ⑧ 8/7(水) KBS 京都ラジオのラジオカーが五老スカイタワーとカフェななこを訪れた。カフェななこではFMまいづるパーソナリティがKBSからインタビューを受け、11:25から約10分間、近畿100景第1位の景観や、艦めしフードのPRをおこなった。
- ⑨ 8/8(木) 午前、海上自衛隊舞鶴地方総監部会議室で、海自カレーのキャラクターと名称の発表会見が行われ、キャラクターの名前は「湾カレーまいじくん」、制作者は城北中学校2年生の黒田うたさんと発表された。FMまいづるではこの模様を取材し、12時、15時、17時半の番組でニュースとして伝えるとともに、黒田さんへのインタビューを放送した。
- ⑩ 8/21(水) にパリオリンピック女子バレーボールに出場した舞鶴出身の井上愛里沙選手へのイ

インタビューを収録した。8/26（月）のBayside Morning Kyoto 他の番組で放送予定。

(2) 番組審議：

2024. 5. 8. 18:30～49 放送

水曜日の勇者たちへ（西舞鶴 若の湯＝公衆浴場、営業時間外で収録）

パーソナリティ：サファイヤ ママ（阿部尚美）

5 議事の概要

- ① 上記（1）項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記（2）項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

6 審議内容

【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① パーソナリティ自身がスポンサーで時間枠を買っている番組形態と聞いたが、本人が主体性を発揮できて、地域の事柄を地域の人に発信できるのはよい。
- ② 地元の人が地元のことをPRするのはよい。マイナス的なことは何もなかった。
- ③ お風呂屋へは行ったことがなかったが、様子がよく分かった。
- ④ 銭湯の中の二人の対談がとても自然で、聞き心地が良かった。聴いたら行きたくなった。
- ⑤ ゆっくりしゃべっているので落ち着き、聴き込んでしまった。パーソナリティがあまりしゃべらず女将さんの話を引き出しているのがよかった。
- ⑥ パーソナリティの口調はとても自然で、聞き心地がよかった。オープニングの口調よりも、男湯の中での対談の進め方の方がより自然で、親しみを感じた。
- ⑦ 聴いていてほのぼのさせてもらった。パーソナリティのテンポは良くはないがローカルなほっこりした感じだった。
- ⑧ 狭い範囲の話ではなく、若の湯は「国の有形登録文化財」であり、メディアで発信すれば舞鶴の魅力につながる。
- ⑨ 対談中のバックミュージックの音量や雰囲気最適であった。
- ⑩ 地元の方々こんなふうにならぬ自然な語り方が聞ける番組はこれまでなかった気がする。貴重な番組だと感じた。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で確認した。上記の意見を、担当パーソナリティにも伝えるとともに番組編成・構成に生かしていくこととした。（令和6年8月29日）

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和6年9月3日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和6年9月3日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

9 その他の参考事項

なし

以上